

児童学会講演会

演題 幼児教育のこれから—変化の時代に大切にしたいこと—

講師 汐見 稔 幸

2020年7月1日水曜日に、別府大学短期大学部初等教育科児童学会主催のもと、東京大学名誉教授、一般社団法人家族・保育デザイン研究所代表理事の汐見稔幸氏を講師に迎え、ご講話いただきました。今回の児童学会講演会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、東京会場と別府大学400番教室500番教室3号館ホールをつなぐリモート講演で実施いたしました。別府大学短期大学部初等教育科の前学生及び教職員を合わせて約500名が参加致しました。

講演は、幼児教育のこれから—変化の時代に大切にしたいこと—というテーマで、新しい時代を生きていく子どもたちを育てていく幼児教育についての内容でした。常に変化し多様性が認められてきつつある現代社会において、本当に何が起きているのか、何が必要なのか、といったことを常に考えていく重要性にも気づくことができました。そのためには、多くの専門職者間の連携や協議を重ね、本物を見抜く眼力、判断能力、感受性が必須です。常に努力の姿勢を保ち続けていかねばなりません。

「身体や感性を十分に使って生きること」「人と豊かに関わり努力すること」「考え工夫し協働して文化を作っていくこと」を、AI時代が到来している中、幼児教育においてどう育むか、保育所保育指針に込められている「子ども中心の保育」の理念や思想を踏まえてご講演いただきました。

これからの教育・保育・福祉の分野で活躍する専門職者を目指す学生、またその専門職者の養成に力を注ぐ教育陣らにとって、「新しい時代を生きる子どもたちを育む教育者・保育者に必要な資質とは何か」について考える機会になり、学び深い時間となりました。

